

科目番号	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
17197	日本語特演	2単位 後期	留学生 対象	演習	中川 麻美 (非) 真島 知秀 (非)

- テーマ 学習者が伸ばしたい分野について理解を深める。  
これまでのテーマとしては「日本語能力試験 (JLPT) 合格を目指す」「漢字の読み書きの力をつける」「読解・聴解力をつける」などがある。

### ■授業概要

教科書やオリジナル教材を使って、日本語の話す・聞く・読む・書くというコミュニケーション能力の向上を図るとともに、日本や沖縄に関する知識を深め、より良い異文化理解を目指す。基本的に、後期入学の留学生を対象とする。

### ■学習目標

- 日本語を使って日常生活での話題についてコミュニケーションをとることができる。
- 日本語あるいはそれぞれの母国語で、日本文化や沖縄の文化について説明することができる。

### ■授業計画・方法

講師2名によるティームティーチングで授業を行う。週2回の授業を、各曜日担当の教員が学習者のレベルやニーズに合わせた内容で行う。取り扱う教材やカリキュラムの詳細については、受講生のプレースメントテストの結果をもとに、学期の初めに担当講師が決定し提示する。

- 第1週 : オリエンテーション&プレースメントテスト
- 第2週 : 表記法・発音
- 第3週 : 文法・会話表現1
- 第4週 : 文法・会話表現2
- 第5週 : 文法・会話表現3
- 第6週 : 文法・会話表現4
- 第7週 : 文法・会話表現5
- 第8週 : 文法・会話表現6
- 第9週 : 文法・会話表現7
- 第10週 : 文法・会話表現8
- 第11週 : 文法・会話表現9
- 第12週 : 文法・会話表現10
- 第13週 : 文法・会話表現11
- 第14週 : 文法・会話表現12
- 第15週 : 定期試験および解説、総まとめ

### ■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

登録の前にプレースメントテストを受けること。

原則として、後期入学の留学生を優先的に受け入れるが、担当教師が認めた場合は、他の留学生の参加も可とする。

### ■成績評価の方法・基準

□方法 平常点 (授業への積極的な参加、教科書の内容を十分に理解しているか、積極的に日本語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているかなど) (20%)、課題提出・小テスト (20%)、中間・期末試験 (60%)。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

### ■教科書・参考文献等

- 初級レベル : 『みんなの日本語—初級 I 本冊』スリーエーネットワーク
- 中級レベル : 『中級を学ぼう—日本語の文型と表現 56』スリーエーネットワーク
- その他、オリジナル教材、プリント等